



わん！ ～WAN～

わん！～WAN～

- 山口県下関市を拠点とした、よさこいチーム
- 発足：2014年
- メンバー数：23人（2021年12月時点）
- チームの特徴

☆メンバーが全国にいる

（山口県全域・福岡・広島・大阪・東京・静岡）

☆20代のメンバーを中心に活動している



本日の参加メンバー

山田千晶

樋口優子

石井博文

浪野聡史郎

富川智史

永田希恵



わん！が考える地域活性化とは？①

地域活性化＝町おこし＝人おこし

- 町をおこしているのは、40～50代の地元の方（商工会議所の方々など）
次の世代の若者が「町おこしの心」を理解して、その町に生き続けるのか？
⇒「町をおこしたい！」と思えるマインドづくりが大事
- よさこいを通じて、町おこしの方々と触れ合う機会を作る。
地域の魅力や町の力を感じて、「この町のために何かしたい」という人を作る
⇒オンラインの交流会でつながる
自分たちだけではなく、各地のよさこい人を通じて、
高めあう関係性も築くことができる

わん！が考える地域活性化とは？②

県外出身学生が山口県へ定住化

- 山口県内の大学生は県外出身学生
山口県に魅力を感じて、山口県に残ってくれたら…
若い力やエネルギーが大きくなり、町おこしにつながる
- よさこいを通じて、学生たちと触れ合ったり、就活につながる関係を創出
⇒山口県に残ってもらうきっかけになる
- 山口県の学生のよさこいチームのメンバーの中には、社会人になってもよさこいを続けたくて、山口県に残る例も多数あり。わん！メンバーも半数以上は山口県外の出身。
好きな仕事もしながら、よさこいを続けて、地域のために活動ができている。
- 学生のころから、山口県の地域活性化のために動く「熱い思い」に触れてもらい、山口県のために活動してくれる若者を残す活動をしていく。

活動の目的

①地域活性化のための活動

⇒山口県内外のお祭りに積極的に参加し、山口県の良さをPRしたり、よさこいの力で地域活性化を目指す！

②子供たちの未来のための活動（①の延長線）

⇒イベントや祭りを無くさない。

よさこい祭りの中で、子供たちと一緒に踊る機会を設ける。

よさこいという素晴らしい日本の伝統を未来につなぐ

③学生の未来のよさこい環境づくり！

⇒他チームへの練習指導や振付提供などを通して、山口県内外のよさこいチームのレベル向上！

今年1年でできたこと

①地域活性化のための活動

- 3月 九州がっ祭にて地域紹介動画配信！
- 4月 メンバー居住区域で動画撮影（ミュージック風PV作成）
- 7月 プラクティス動画風PV作成
- 11月 徳山駅前商店街で開催されたお祭りへ参加（新曲「ともにーTOMONIー」お披露目）
- 12月 島根県日原の道の駅にて県外演舞



● 3月 地域紹介動画を作成して祭り参加



● 4月 メンバー居住区域でMV風動画撮影



● 11月 完全お披露目

徳山駅前商店街

徳山駅前商店街と実行委員会の皆さん
が協力して運営されている。



●12月 島根県日原の道の駅にて県外演舞

イベントに飲食ブースを出展していた地元のカフェの方が、自分たちの演舞を見て、「感動した」と言っていただき、シュークリームをいただいた時の写真。地域の方とこういった形でも「出会う」ことができる。



②子供たちの未来のための活動

- 「イベントや祭りで子供たちと一緒におどる」という自分たちにとって普通のこと、今年はやがて難しい期間だった。



今年「準備・継続期間」とし、来年の課題である。

- 子供たちが楽しみにしている祭りやイベントの衰退

【現状】地域おこしから始まった祭りが無くなっている。

コロナ禍で今まで続けてきた運営体制が止まり、引継ぎができなくなる。

【できたこと】わん！メンバーの経験者が運営側に入って、つなぎとめる。

例) 福岡県 黒崎よさこい祭り実行員会

山口県 川棚菜の花よさこい祭り実行委員会

③学生の未来のよさこい環境づくり！

●9月

結人祭～学生と地域の人々を繋ぐお祭り～ 後方支援

●10月

5つの大学生チームと県内社会人チームをつなぐオンライン交流会開催
⇒司会・運営を担う

●10月

北九州市立大学「灯炎」演舞会 共同企画

●11月

山口県立大学「奄美連合萩組」演舞会 共同企画

● 9月 結人祭～学生と地域の人々を繋ぐお祭り～ 【後方支援】



山口大学と山口県立大学の学生は山口市の中心商店街の方々と協力して、祭りを開催している。その取り組みを経験した学生が卒業していく中で、祭りの運営などのアドバイスをできる関係づくりを構築している。

●10月 5つの大学生チームと県内の社会人チームをつなぐオンライン交流会開催



わん!~WAN~が司会・運営を担う。

いつもなら月に1回以上の頻度で会うことのできていた方々と会えなくなり、メンバーが変化していく学生と、社会人のつながりが希薄になっていた。オンラインではあるが、途切れかけた繋がりをつなぐことができた。

学生たちの演舞会を共同企画

- 10月北九州市立大学「灯炎」
- 11月 山口県立大学「奄美連合萩組」



大学生チームは1～3年生（3年生は今の時期に引退）することが多い。
今の1・2年生は一度も「祭り」や「イベント」を経験したことのない子ばかり。
「よさこいは踊るだけではない」ことを感じてもらうために、学生と協力して、
イベントを開催した。

今後

①地域活性化のための活動

4月に下関市の川棚温泉で開催される「菜の花よさこいまつり」運営に新たに携わる。

②子供たちの未来のための活動

わん！主催のダンス会や、小中学校への運動会指導をサポートしていきたい。

③学生の未来のよさこい環境づくり！

1月に山口県内5大学との共同制作作品を公開予定。

これからもよさこいを通して地域を盛り上げる活動を続けていきます。

